

紙本墨書三願文 親鸞筆 1幅(慈雲寺)

紙本墨書三願文 親鸞筆

しほんぼくしょさんがんもん しんらんひつ

分野／部門

有形文化財／美術工芸品[書跡]

所有者

宗教法人 慈雲寺(じうんじ)

所在地

大阪市西淀川区姫島 1

紹介

法量：26.5cm×33.0cm



親鸞(1173～1262)の真筆とされる史料は全国的にみても希少だが、慈雲寺に伝来する三願文はその代表的な事例のひとつである。大無量寿経から第 11・12・13 願文を書写したものである。断簡であり当初の形状は不明であるが、8 行にわたり振り仮名付きの楷書体で記されている。親鸞の楷書体の書跡は、伸びのある直線が絶妙な広がりをもって配される独特のものだが、年代によって若干の特徴がある。前期・後期の書体が混じる東本願寺の『教行真証』坂東本や、80 代の晩年の筆である名号本尊の賛の書体などと比べると、三願文の書体は落ち着いたきのある晩年の書体の特徴を示す。親鸞晩年の筆と考えられる史料である。